

核兵器廃絶へ、世界を動かそう!

原水爆禁止2019年世界大会 - 長崎

8月7日から9日まで、長崎市内で原水爆禁止2019年世界大会 - 長崎が開かれます。ことしの大会は、来年の広島・長崎の被爆75年、NPT（核不拡散条約）発効50年、2020年NPT再検討会議という、「核兵器のない世界」に向けた重要な節目の年にかつ開かれます。核兵器廃絶へ、世界を動かしましょう。

8/7 (水) 開会総会 15:30 ~ 18:00 長崎市民会館体育館・文化ホール

核保有国を追いつめましょう! 政府と市民社会の共同を

オーストリア、メキシコ、ベネズエラの政府代表が発言

核兵器禁止条約を推進する政府と核の特権を維持しようとする核保有国との対決、せめぎ合いが続いています。禁止条約推進国のオーストリア、メキシコ、ベネズエラ（非同盟運動議長国）の政府代表の発言を聞き、2020年NPT再検討会議の焦点、核兵器廃絶の展望をつかみましょう。



ゲオルグ・ワイルヘルム・ガルホーファー公使
(オーストリア欧州統合外務省)



メルバ・ブリーア
駐日メキシコ大使館大使



セイコウ・イシカワ
駐日ベネズエラ大使館大使

被爆地長崎を代表して
田上富久市長が挨拶します。



共同をひろげ、 禁止条約に参加する政府を!

日本国憲法が示す平和の努力を政治の中心に据え、核兵器禁止条約に参加して核兵器禁止の先頭にたつ日本をめざす全国の行動が結集します。

市民連合のよびかけ人の広渡清吾東大名誉教授、オール沖縄会議の稲嶺進共同代表、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長の吉原毅さんが連帯挨拶します。



広渡清吾さん



稲嶺 進さん



吉原 毅さん

2020年・核兵器廃絶へ 世界の反核平和運動と交流・連帯

来年の大統領選挙候補者の最優先課題に「核兵器廃絶の交渉開始」とと全米市長会議が決議したアメリカ、NATO加盟国で核兵器廃絶のたたかいをひろげているイギリス、ドイツ、スペイン、非核平和のアジア・太平洋をめざすフィリピン、ネパール、韓国（被爆者を含む）、インドの反核平和団体の代表が参加し発言します。

世界大会ニューヨーク をよびかけます

2020年春、NPT再検討会議に合わせて「原水爆禁止世界大会 IN ニューヨーク」が開催されます。原水爆禁止世界大会が第一回大会以来掲げ続けてきた核戦争阻止、核兵器全面禁止・廃絶、被爆者援護・連帯を目標としてとりくまれるのは史上はじめてで画期的です。開会総会では、提唱者であるジョゼフ・ガーソンさんとライナー・ブラウンさんが「世界大会 IN ニューヨーク」の成功をよびかけます。



ジョゼフ・ガーソン
(平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン議長)



ライナー・ブラウン
(国際平和ビューロー (IPB) 会長)

魅力いっぱい

8/8 (木) フォーラム・分科会 うごく分科会

詳しくは世界大会実行委員会のホームページをご覧ください。



8/9 (金) 閉会総会・ナガサキデー集会

10:30~13:00長崎市民会館体育館・文化ホール

特別企画 “被爆者の願いを世界に一長崎”

「原水爆被害者の不幸な実相は、広く世界に知られなければなりません。」(第1回世界大会決議) 一被爆者の証言を世界に伝えること。それは第1回大会から64年間、世界大会がもっとも大切にしてきたことです。被爆74年を経た今、被爆者の声に耳を傾けましょう。



長崎被爆者
横山照子さんの被爆証言

核実験被害者からのスピーチ
韓国被爆者のスピーチ

被爆国の決意

核兵器のない世界をめざして、高校生、学生、青年たちが決意を述べます。高校生1万人署名実行委員会の代表も訴えます。

2020年あなたの署名をニューヨークへ 大会参加者によるアクション

世界数億の「ヒバクシャ国際署名」めざして、参加者全員がプラスターをかかげてアピール

文化企画

合唱組曲「平和の旅へ」

被爆40年の節目の年につくられた作品。被爆者の渡辺千恵子さんの願いを合唱組曲で伝えます。

【問い合わせ先】

原水爆禁止世界大会実行委員会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

Tel.03-5842-6035 Fax.03-5842-6033

http://www.antiatom.org/